

とっとり産業フェスティバル2009 ポスター発表要旨

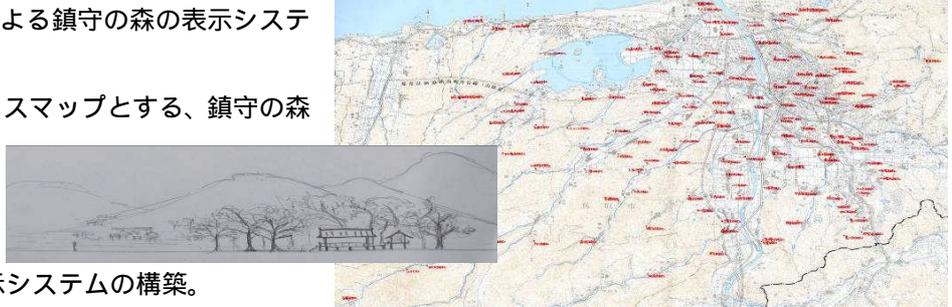
「鎮守の森」の自然的・文化的景観としての意味と役割
- 鳥取市の景観まちづくりのための基礎的調査研究 -

発表者 鳥取環境大学環境マネジメント学科・教授 東樋口 護

概要： 本研究は、鳥取の地形（森・丘）並びに集落・町並みと一体になり、かつ数多く保存されている鎮守の森を取り上げ、その存在態様と自然的・文化的景観としての役割を明らかにするものである。なお、鎮守の森の存在様態を明らかにするとともに、GISシステムを用いて視覚的に表現した景観まちづくりのツールの構築を目指すものである。

1, GISシステムによる鎮守の森の表示システムの構築

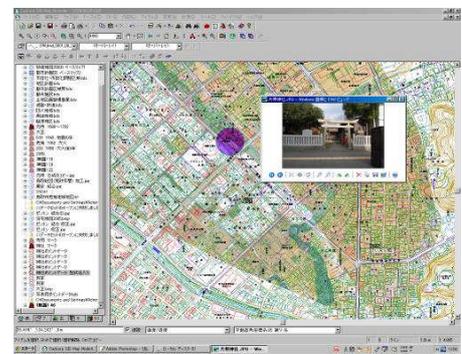
・都市計画図をベースマップとする、鎮守の森の分布、写真画像の貼り付け、属性データのリンクを可能とする基本表示システムの構築。



・鎮守の森のある集落景観・都市景観の表現と表示システムとのリンク。
・植生図あるいは地質図、歴史的な背景情報としての歴史地図などを、レイヤーとして作成して、鎮守の森の分布背景を理解するデータの検討。

2, 鎮守の森の実態調査と調査データの作成

・(調査項目): 名称(神社名・無名のものを含む)、所在地、範囲と規模、植生(樹木種)、樹高、周囲の環境、参道、特徴、宮司の所在、由緒、本殿形式、鳥居の有無・形式と大きさ、近景・中景写真データ、その他



3, 調査途上で判明した事項

- ・社葬の樹種は広葉樹・針葉樹様々であり、照葉樹林のものも存在し、樹高・規模は多様である。
- ・山裾・田園・集落内など周辺環境も様々であり、それによって景観要素としての役割も異なる。
- ・無住のものであっても比較的よく保存されており鎮守の森が大切にされていることを伺わせるが、一方で道路建設・竹の猛威などによりその景観が壊されているものもある。
- ・地域社会の中での維持・管理、畏敬の念など、地域文化財としての役割解明が今後の課題である。



【ライセンス情報】 発明の名称:

発明者:

【来場者へのメッセージ】鳥取市に数多く存在する鎮守の森を、自然・文化景観の重要資源として大切にするとともに、調査研究結果を景観まちづくりの基礎資料として活用することができればと思います。

連絡先: 鳥取環境大学環境マネジメント学科 教授 東樋口 護

鳥取市若葉台北1-1-1 TEL.0857-38-6776 E-mail tohiguti@kankyo-u.ac.jp

分野	その他(居住空間工学)	プレゼンタイム	有	無
----	-------------	---------	---	---